



# むかい

## 学校教育目標

- ・かしこく
- ・やさしく
- ・たくましく
- ・なかよく

## 子どもたちの成長を願って

校長 川添 倫義

朝、登校する子どもたちを正門で迎え、あいさつを交わしています。「おはようございます」と笑顔で元気に声をかけてくれる子どもたちに何かお返しできないかと考え、ハンドパペットをつけてあいさつするようにしました。「今日のお人形は〇〇だね。」「私も同じもの持っているよ。」など、あいさつに一言が添えられるようになり、さらにコミュニケーションが増えました。

5月5日は「こどもの日」です。もともとは、「端午の節句」にあたり、「菖蒲（しょうぶ）の節句」とも言われます。強い香気で厄を祓う菖蒲や蓬（よもぎ）を軒先につるしたり、菖蒲湯に入ったりすることで無病息災を願ったそうです。また、「菖蒲」と「尚武」をかけて、勇ましい飾りをして子どもの成長を願ってお祝いましたそうです。「こいのぼり」には、登竜門（登竜と呼ばれる激流）を鯉が登ったという中国の伝説を受け、健やかな子どもの成長を願う親の気持ちが託されているそうです。先日、校長室の入り口に季節の飾りつけをしました。季節に合わせて変えていこうと思っています。子どもたちや来校者の方々に季節を感じていただけると幸いです。

以前、ある場所の軒下にツバメの巣があり親ツバメが何度も何度もえさを運んで来て、ひなに与えていました。ちょうど5月は、鳥のひなが卵からかえり巣立っていく時季です。私の自宅の角に植えている月桂樹の枝に、小さな手作りの巣箱を置いています。毎年この時季になると、幼鳥がエサをおねだりする鳴き声や一日に何十匹もエサとなる虫を運ぶ親鳥が飛び交う様子が見られます。5月10日～16日は、「愛鳥週間」です。野鳥が人間の生活に大きな役割を果たしていることに感謝をして鳥を大切にしようという、アメリカの運動が始まりだそうです。例えば、シジュウカラ一羽で、年間12万5千匹もの害虫をとってくれと言われていています。スズメは、メヒシバ（雌日芝）などの雑草の実を一度に2百から4百粒も食べて雑草が増えないようにしてくれているそうです。この二つの例から考えてみても、もし野鳥が少なくなったらどうか。雑草は増え、樹木は害虫によって枯れやすくなってしまおうでしょう。

向小の正門前の道は、地域全体で「あいさつ通り」として取り組んでいこう、と昨年の学校運営協議会（準備会）で話し合われたとお聞きしました。わたしたちの町でも、毎朝、小鳥の鳴き声でさわやかな目覚めのときを迎えたいものです。そして、「あいさつ通り」で元気なあいさつを交わしましょう。